

健康診断の受け方

学校内で行う測定

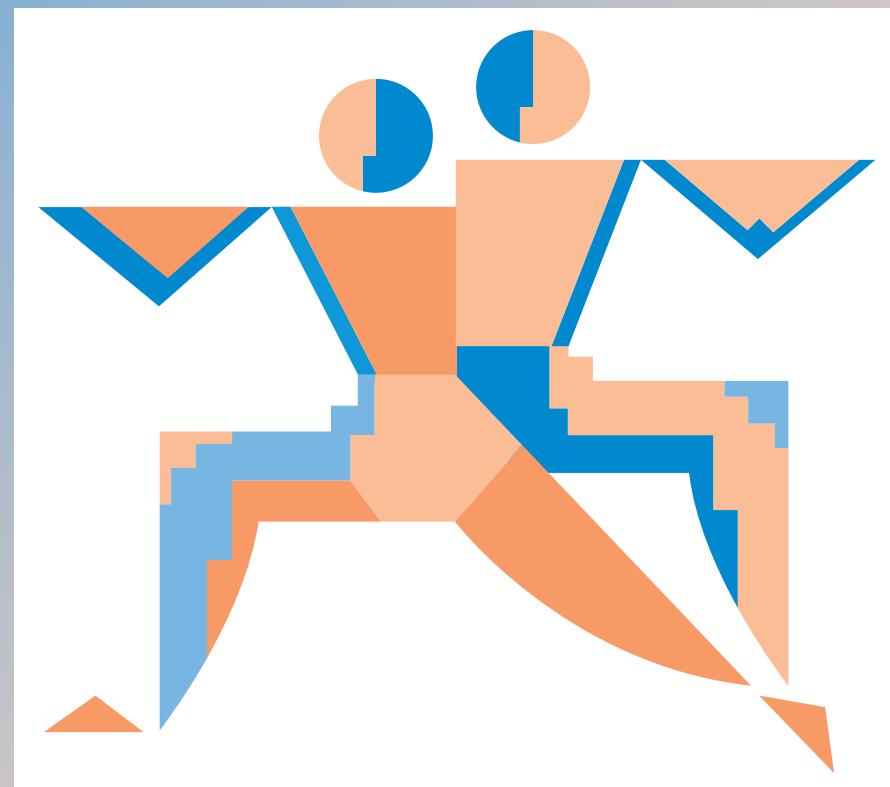
測定項目	受け方
身体計測	<ul style="list-style-type: none"> 裸足で身長計に立ち、尺柱に両かかと、お尻、背中をつける。 両腕を身体のわきにおろし、正しく立つ。 あごをひいて、頭をまっすぐにし、眼の高さを見つめる。（眼耳水平位）
	<ul style="list-style-type: none"> 体重計の中央に静かに立ち、静止する。 衣服を着たまま測定した場合は衣服の重量を差し引く。
視力	<ul style="list-style-type: none"> 右眼から検査をする。 眼は細めないで、両眼を開いたまま遮眼器で左眼をかくす。 指示がなければ、メガネ・コンタクトレンズをつけたまま測定する。 原則 5m離れた視力表の指標（ランドルト環）を見る。環の切れ目が上下左右4方向のうち3方向正しく判別できるところを視力とする。 A (1.0以上) B (0.9~0.7) C (0.6~0.3) D (0.3未満) <p>記録方法 裸眼視力は()の外へ メガネ・コンタクトレンズ使用時の視力は()の中へ。</p>
聴力	<ul style="list-style-type: none"> オージオメータを用いて右耳から検査する。 レシーバーを耳に密着させる。 <p>高い音（4000ヘルツ）と低い音（1000ヘルツ）を聞く。音が聞こえている間はボタンを押すか手を上げて合図をする。聞こえなくなったら、ボタンから指をはなす。</p>

検査機関及び学校医による検査・検診

検査・検診項目	事前の準備	受け方
尿検査	<ul style="list-style-type: none"> 前日に検査用物品を受け取る。 提出用採尿袋等にはっきり学年・組・氏名を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 起床直後の早朝尿を採る。 尿をコップに採る場合、はじめの尿は捨て、途中の尿を採る（中間尿）。 一次検査で陽性の反応がでた人は二次検査を受ける。
内科検診	<ul style="list-style-type: none"> 過去1年間の健康状態を調査票に記入しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 上半身はだかになり、静かに受ける。 栄養状態・脊柱・胸部・四肢の状態・皮膚疾患・心音その他貧血等を診もらう。
歯科検診	<ul style="list-style-type: none"> ていねいな歯みがきをしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 頸の関節・歯ならび・咬み合わせ・歯垢・歯肉・う歯等を診もらう。
眼科検診	<ul style="list-style-type: none"> 調査票を期日までに記入しておく。 自分の視力を知っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査直前にメガネをはずす。コンタクトレンズはとらないでよい。 目について疑問があれば検診医に尋ねる。
耳鼻科検診	<ul style="list-style-type: none"> 検査前日、耳あかを取っておく。 調査票を期日までに記入しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在治療中の部位があれば経過を話す。
心臓検診 (心電・心音検査)	<ul style="list-style-type: none"> 調査票を期日までに記入しておく。 検査の受け方を知っておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査前は激しい運動を避ける。 上半身はだかになる。ソックスを脱ぎ足首がでるようにする。

学校医による総合判定 —— 諸検診結果、治療勧告や経過観察として文書で連絡します。

ヘルスカード



1学年 組番	中学校 氏名
2学年 組番	
3学年 組番	

岡山県学校保健会 編